

戸 田 市 教 育 委 員 会 会 議 録			
招 集 期 日	平 成 3 1 年 1 月 2 4 日 ( 木 )		
場 所	戸 田 市 役 所 教 育 委 員 室		
開 会	1 月 2 4 日 午 前 9 時 3 0 分		
閉 会	1 月 2 4 日 午 前 1 1 時 3 5 分		
教 育 長	戸ヶ崎 勤		
教 育 長 ・ 委 員  出 席 状 況	戸ヶ崎 勤	出 席	
	仙 波 憲 一	出 席	
	鈴 木 晃	出 席	
	土 肥 美 奈 子	出 席	
	木 村 雅 文	出 席	
説 明 員	鈴木教育部長、熊谷次長、清水次長兼教育政策室長、		
	栗津副参事兼教育総務課長、武藤学務課長、		
	教育政策室川和田担当課長、小須田学校給食課長、福田生涯学習課長		
書 記	教育総務課総務担当 山本副主幹、片桐主任		
傍 聴 人	3 人		

## 会議の経過及び結果

教育長

本日は今年初めての教育委員会定例会になりますが、教育委員会の一層の活性化等に向けて、昨年同様よろしくお願い申し上げます。また、1月7日で前・吉田委員が退任され、1月8日付けで新たに木村委員が着任されました。どうぞよろしくお願いいたします。

突然ですが、プロ野球の選手たちは今月下旬には続々とキャンプ地入りし、2月1日の春季キャンプインに備えているところです。最近、その野球の常識が覆りつつあるようです。強打者の打順が1番、2番となり、送りバントが消えるかもしれません。最近は、これまでとは逆に、ゴロよりフライの方がアウトになる確率が低いとして、日本でも最近フライを狙う打者が増えつつあるそうです。根拠となるのは、「セイバーメトリクス」と呼ばれるデータサイエンスを活用した客観的根拠に基づく野球理論・分析手法です。打率や打点、防御率などに代わる、新しい指標を導入すると、選手の評価や戦術が大きく変わる可能性があります。

この手法が生まれたきっかけは、米カンザス州に住むビル・ジェームズ氏が1977年に自費出版した小冊子だそうです。当時弱小球団であった大リーグのアスレチックスがいち早くこの理論を取り入れたところ、年俸の低い選手だけで2002年に地区優勝を果たしました。チーム再建劇は映画にもなりました。

教育の世界に目を向けますと、昨年はEBPM元年と言える年だったと思います。文部科学省や中央教育審議会等で、「今後はより効果的・効率的な教育政策の企画立案等を行っていく観点や、国民への説明責任を果たしていく観点から、客観的な根拠を重視した行政運営に取り組んでいくことが必要である。」として、第3期の教育振興基本計画の中にも大きな柱として盛り込まれました。また、EBPM推進体制の構築が必要であるとして、文部科学省内の組織を再編してEBPMの推進等を担う組織を新設したり国立教育政策研究所内にEBPMを担う研究体制を構築したりしました。

私がこれまでもよく言ってきた「3K」、つまり経験や勘や気合いから脱

	<p>した教育を、国だけでなく戸田市教育委員会でも積極的に行っていかなければならないと決意を新たにしているところです。今年も戸田市の教育振興に向けて御参会の皆様方のお力を存分に発揮していただくようよろしくお願い申し上げます。</p>
事務局	<p>続きまして、1月8日付けで就任されました木村委員から一言御挨拶をお願いいたします。</p>
委員	<p>1月8日付けで教育委員に任命されました木村雅文でございます。</p> <p>国の省庁をはじめ、マスコミや全国の教育委員会などから注目されている戸田市教育委員会の一員となりましたことに身の引き締まる思いでございます。</p> <p>就任早々、教育フェスティバルとプレゼンテーション大会に参加させていただき、激変する社会を見据えた戸田市の教育改革を目の当たりにしたところでございます。</p> <p>私は以前、戸田第一小学校のPTA会長を2年間務めさせていただき、学校運営や教育活動に触れ、また、保護者の様々な意見を聴く機会がございました。その際の経験や私の税理士という職業を戸田市の教育に生かすことができるよう、教育長をはじめ、教育委員の皆様方の御指導、御支援をいただきながら、とだっ子の未来のために全力で務めさせていただく所存です。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
教育長	<p>ありがとうございました。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、ただ今から、平成31年第1回戸田市教育委員会定例会を開会いたします。初めに、前回の会議録の承認ですが、事前に会議録の内容を見ていただいておりますので、御異議がないようでしたら承認ということでよろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>了承</p>
教育長	<p>それでは、会議録に御署名をお願いします。</p>

各 委 員	署名
教 育 長	<p>次に、秘密会となる案件につきましてお諮りいたします。次の案件については、議会提出案件及び公開することにより事務の公正な執行に支障が生じる案件となりますので、秘密会で行うこととしてよろしいかお諮りいたします。</p> <p>議案第 1 号 戸田市奨学資金条例等の一部を改正する条例(案)について</p> <p>議案第 2 号 平成 3 1 年度特別支援学級の新設について</p> <p>議案第 3 号 平成 3 0 年度一般会計教育委員会関係 3 月補正予算(案)について</p> <p>議案第 4 号 平成 3 0 年度海外留学奨学事業特別会計 3 月補正予算(案)について</p> <p>議案第 5 号 平成 3 1 年度一般会計教育委員会関係予算(案)について</p> <p>議案第 6 号 平成 3 1 年度海外留学奨学事業特別会計予算(案)について</p>
各 委 員	異議なし
教 育 長	<p>それでは「議案第 1 号から議案第 6 号」は、秘密会とすることに決定いたしました。</p>
教 育 長	<p>はじめに、「教育委員提案について」御報告いたします。以前の教育委員会にて委員より御質問のあった件について報告がございます。</p> <p>① 全国学力・学習状況調査の保護者に対する調査について（鈴木委員）</p> <p>それでは鈴木委員から御提案のありました「教育委員提案① 全国学力・学習状況調査の保護者に対する調査について」を事務局より説明願います。</p>
事 務 局	<p>①全国学力・学習状況調査の保護者に対する調査について報告します。資料 1 ページを御覧ください。</p> <p>この調査研究は、小 6 と中 3 が対象の全国学力・学習状況調査の追加調査という形で、お茶の水女子大学の浜野教授を中心とする実施委員会が文部科学省の委託を受けて、平成 2 9 年 5 月に保護者を対象に調査を行った</p>

ものです。

保護者調査の内容は、子供への接し方や、教育に対する考え方、保護者の経済状況などです。研究内容については、この調査を活用し、SESと言われる家庭の社会経済的背景と児童生徒の学力調査を関連付けた分析や、SESが低いにもかかわらず継続的に高い学力成果を上げている学校の特徴も分析しています。

2ページを御覧ください。まず、この研究の根幹といえる社会経済的背景、SESについて御説明します。SESとは、保護者調査で回答を得た「家庭所得」、「父親学歴」、「母親学歴」の三つの変数をそれぞれ標準化した平均値となっています。一般的には、SESはこの3変数に加えて、「父親職業」、「母親職業」という変数も加えるということですが、今回の保護者調査では、職業の序列を設定できるような調査となっていなかったため、除かれているということです。これから御説明する調査結果については、SESの値を順番に4等分して分析しております。つまり、SESが高いということは、この3変数の値が高いということになります。

3ページを御覧ください。SESと学力の関係です。学力については、全国学力・学習状況調査で実施した小6の国語AB、算数ABと、中2の国語AB、数学ABの結果となっています。ここで得られた知見は上段の三つです。

まず、知見の一つ目は、「SESが高い家庭の児童生徒は、平均正答率も高い傾向にある」ということです。下段の表を御覧ください。縦の項目は、SESのレベルを示していて、一番上が最も低く、一番下が最も高いことを示しています。横の項目は、各テスト項目です。例えば、下の表は中3のテスト結果ですが、中3の国語Aの平均正答率を御覧いただくと、70.43から84.76となっています。国語Aに限らず、SESが高ければ高いほど、平均正答率も高い傾向があることがわかります。

知見の二つ目は、「SESが低い家庭の児童生徒の層では、正答率のばらつきが大きい」ということです。平均正答率の右側に変動係数という括弧

書きの数値があるかと思いますが、これは、このSESの層の得点分布のばらつきを示しています。括弧内の数値が高くなるほど、得点分布のばらつきがあるということになります。小6の国語Aを御覧ください。SESが一番高いところの平均正答率は81.99で、変動係数は0.18、SESが最も低い平均正答率は68.00で変動係数は0.30と、SESが低ければ低いほど、ばらつきが大きいことがわかります。

つまり、SESが高いと平均正答率の数値前後の同じぐらいの正答率の児童生徒が多いわけですが、SESが低いと平均正答率を中心に、得点分布のぶれが大きい、つまり、SESが低い家庭の児童生徒の層には、正答率が低い子供もいるし、正答率が高い子供もいて、様々な正答率の児童生徒がいるということです。

三つ目の知見としては、SESの学力への影響の変化は、教科によって変化するなど、傾向を明確に読み取ることができないということです。

4ページを御覧ください。SESと非認知スキルと学力との関係です。

一つ目の知見は、非認知スキルは学力にゆるやかな相関があることです。

二つ目の知見は、非認知スキルとSESとの間には、あまり相関が見られないということです。

三つ目の知見は、以上のことから、SESの高い低いにかかわらず、非認知スキルを高めることができれば、学力を一定程度押し上げる可能性があるということです。

ただし、※印にもありますが、今回の分析ではゆるやかな相関があるというレベルということです。下段の表の中に相関係数と言われる数値がありますが、これは0から1で表されます。1は最も相関が高い、つまり同じものであることを表しています。だいたい0から0.4までは弱い相関と位置付けられますので、この表で見られる数値からは、ゆるやかな相関という表現になっています。

5ページを御覧ください。不利な環境を克服している児童生徒の特徴に

ついてです。ここでは、SESが低いにもかかわらず、学力が高い児童生徒の特徴をまとめています。

まず、保護者の特徴です。同じSESの層で、他の学力層と比較して、規則的な生活習慣を整え、文字に親しむように促す姿勢、知的好奇心を高める働きかけ、さらには学校教育に対する親和的な姿勢が見られるという特徴があります。

次に児童生徒の特徴としては、最後までやり遂げる姿勢、コミュニケーションする能力など、非認知スキルが高い傾向があるということです。また、授業の復習を重視する傾向や、塾などに頼らなくても一定の学習時間を確保しているということです。

6ページを御覧ください。家庭環境と子供の学力についてです。資料に記載している働きかけや保護者の意識や行動などが見られる場合には、子供の学力が高い傾向があるということです。

7ページを御覧ください。学校風土と子供の学力についてです。学校風土については、SESの高い低いにかかわらず、学力向上にプラスに作用しているとのことです。学校風土は資料記載の5項目で測定されています。

8ページを御覧ください。過去5年間にわたり、学校における家庭のSESが低いにもかかわらず、継続的に成果を上げている学校の特徴についてです。資料記載の6点が傾向として挙げられています。

最後に9ページを御覧ください。これらの継続的に成果を上げている学校の特徴から、今後戸田市が目指すべき学びとして、次の二つを考えております。

一つ目は、個の学びを確かなものにするために、ICTなどを積極的に活用した個別最適化学習の実施です。アクティブ・ラーニングによる主体的で対話的な学びは大変重要ですが、それだけではなく、基礎学力の確実な定着を図るために、動画や個のレベルに応じたドリル的な学習など、最先端技術を活用した学びについても検討していきたいと考えています。

	<p>二つ目は、学校全体で地域を巻き込んだ授業改善を推進するため、教科の枠を超えた探究的な学習を実施していきたいと考えています。特に総合的な学習の時間を中心に充実していきながら、現在の社会生活の課題について、児童生徒が提案するような、戸田型プロジェクト学習を推進していきたいと考えています。先日のプレゼン大会で金賞を受賞した喜沢中学校は、選挙の投票率をアップさせるという提案性が高い発表を行いました。これまで学んだことを総動員し、学校の中で留まるような学びではなく、実際の社会とつながる学びを実施していきたいと考えています。</p> <p>このたびの保護者調査の結果などで得られた知見については、教育長からも校長会議で話をさせていただいていますが、戸田市でも参考になることもありますので、様々な面で参考にしていきたいと考えております。</p>
教育長	何か御質問等がありましたら伺います。
委員	これまでは家庭の経済力が学力に直結していると思っていましたが、それだけではないということがわかりました。学校風土は学校だよりなどで大々的に保護者にお知らせしたらよいと思います。資料9ページの今後戸田市が目指すべき学びは既に実施できていると感じます。
委員	学校風土の測定はどのように測定したのでしょうか。
教育長	直接学校に出向き、聞き取り調査などを行ったものを統計的に分析したとのことです。
委員	戸田市の調査結果はないのでしょうか。
教育長	過去に調査があったことは聞いています。ただし、全校ではなく、また、家庭所得や学歴等のデータが含まれるため、協力市に対してもデータが開示されません。
委員	学校風土が向上するような戸田市独自の取組はありますか。
教育長	効果のある学校、いわゆるエフェクティブ・スクールになるための10項目の条件を私から校長会で示しています。お金がかかることではないの

	で、どの学校でもできるはずで。
委 員	戸ニ小では学級経営を重視しており、それが学校風土の向上につながっていると感じます。
委 員	学校風土を保護者に示すことで、市民との間で意識が醸成されるのではないのでしょうか。
教 育 長	学校が努力し学力が上がるというプロセスが保護者に伝わっていないのではないのでしょうか。教育委員会の取組、学校の取組を保護者に示して御意見をいただくようなことはできないのでしょうか。
事 務 局	戸田市が目指す教育にエビデンスが示せれば説明責任も果たせると思います。これこそがEBPMの神髄で、データを集めて示していければと思います。
委 員	P T Aでも家庭教育宣言を出していますが、各家庭によって意識が違います。その差をP T Aで埋めていけたらと思います。
委 員	どのように保護者に働きかけたらよいのか、少しずつでも広げていきたいと思っています。
教 育 長	秋田県は学力日本一で有名ですが、SESは低いけれども学力が高い学校のある市の教育長にお話を伺って印象的だったことがあります。それは地域と家庭に教師に対するリスペクトがあり、苦情がほとんどないということでした。教師もリスペクトされている自覚があり、それによる教育効果が高いとのことでした。これはとても大切なことですが、そのために本市でできることは何なのか考えさせられました。
教 育 長	それでは他に御質問等がないようですので、続きまして、「報告事項」について申し上げます。本日は「その他」を含めまして6件の報告がございます。  ① 戸田市立小・中学校平成30年度卒業式・平成31年度入学式の日程及び参列者について

	<p>② 平成30年度戸田市算数・数学フェスティバル結果について</p> <p>③ 平成30年度戸田市教育フェスティバル結果について</p> <p>④ 平成30年度戸田市小・中学校児童生徒プレゼンテーション大会結果について</p> <p>⑤ 第65回文化財防火デーに伴う文化財防火点検等の実施について</p> <p>⑥ その他</p> <p>詳細につきまして、各所属長より報告いたします。なお、御質問につきましては、すべての報告が終了したのちに伺います。</p>
事務局	<p>①戸田市立小・中学校平成30年度卒業式・平成31年度入学式の日程及び参列者について報告します。</p> <p>平成30年度卒業式は、小学校が3月22日（金）、中学校が3月15日（金）に行われます。また、平成31年度入学式は、小・中学校ともに4月8日（月）に行われます。基本的に小学校は午前中に、中学校は午後を実施することとなっております。なお、各学校によって、開式の時刻が異なっております。</p> <p>卒業式及び入学式当日は、戸田市教育委員会の言葉を述べるため、教育委員の皆様方に御参列いただいております。教育委員御参列以外の学校につきましては、教育委員会事務局職員が参列する予定です。</p> <p>御参列いただく学校の案は、資料1ページのとおりです。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>②平成30年度戸田市算数・数学フェスティバル結果について報告します。資料2ページを御覧ください。</p> <p>去る12月1日（土）に芦原小において実施いたしました。午前の数学コンテストには60名、午後の算数・数学おもしろ教室には475名が参加し、合計535名の参加となりました。</p> <p>最優秀賞は、新曽北小学校6年生と、筑波大学附属中学校2年生の2名が受賞いたしました。3ページはフェスティバルの様子、4ページは各学</p>

	校の参加状況でございます。
事務局	<p>③平成30年度戸田市教育フェスティバル結果について報告します。資料5ページを御覧ください。</p> <p>去る1月8日(火)に戸田市文化会館にて実施いたしました。参加者数は、合計で586名でした。今年度は、他自治体や一般の方の参加が例年より多くありました。参加者が増えた理由でもありますが、当日の内容が、文部科学省の合田哲雄様と経済産業省の浅野大介様の御講演やトークセッションなど、大きな話題性があったことと思われます。</p> <p>6ページは、教員アンケートから抜粋した感想です。毎日の授業などで忙しく、10年後、20年後の日本社会を見据えた教育まで考えを巡らせることがほぼ無いので大変参考になったなど、概ね肯定的な感想が多くありました。</p>
事務局	<p>④平成30年度戸田市小・中学校児童生徒プレゼンテーション大会結果について報告します。資料7ページを御覧ください。</p> <p>去る1月12日(土)に戸田市文化会館にて実施いたしました。当日は教育委員の皆様には審査に御協力いただき、ありがとうございました。</p> <p>参加者数については、児童生徒83名を含む合計313名でした。来賓については、市長や市議会議員の方々、埼玉県教育委員会や県内外の教育委員会、また多くの企業の方にもお越しいただきました。</p> <p>戸田第二小と喜沢中が金賞を受賞しましたが、児童生徒は、各学校の先生方の指導のもと、この日のために頑張って練習し、緊張しながら一生懸命にプレゼンした様子は感動的なものだったと思います。</p> <p>特に中学校については、テーマを「戸田市長になったら」と絞ったこともあり、昨年度と比べて、現状を分析して得た課題を自分なりに解決する提案があるなど、大変質が高くなったと多くの方から評価いただいております。</p>

	<p>8 ページは、当日の審査で使用したループブックです。産官学の有識者の方々に御示唆をいただきながら作成したものです。多くの自治体から公開してほしいというお問い合わせをいただき、先日 Facebook に掲載いたしました。このループブックの各項目にありますように、プレゼンテーションは、探究的な学びの集大成といえるもので、今後、子供たちに育んでいかなければならない 21 世紀型スキルと考えております。</p> <p>今後、プレゼン大会が単なるイベントではなく、日々の授業の延長線上にあるものとなるよう一層教員研修を充実するなど、推進していきたいと考えております。</p>
事務局	<p>⑤第65回文化財防火デーに伴う文化財防火点検等の実施について報告します。資料9ページを御覧ください。</p> <p>毎年1月26日は、昭和24年に法隆寺金堂壁画が焼損した日に因み、「文化財防火デー」とされており、文化庁より防火訓練やその他の防災訓練等の行事の実施が推奨されております。本市におきましても、消防本部と協力し、1月25日（金）に文化財保護訓練、1月28日（月）に文化財防火点検を実施いたします。文化財保護訓練は常福寺で、文化財防火点検は薬師堂、沖内馬頭観音堂、下戸田氷川神社で行います。</p>
教育長	次に⑥その他ですが、事務局より何かありますか。
事務局	特になし
教育長	以上で、「報告事項」が終わりました。何か御質問等がありましたら伺います。
教育長	報告事項②の算数・数学フェスティバルに中学生の参加が少ないのはなぜですか。
事務局	進学に関するテストや部活動の大会等と重なったためです。今後は日程調整を行うとともに、算数・数学おもしろ教室に中学校教員が参加しておりますので、中学校教員からも働きかけたいと考えております。

教 育 長	多くの児童生徒が参加できるよう一層努力してください。
委 員	報告事項③の教育フェスティバルではとても参考になるよい話が聞けました。また、文科省と経産省のお二人の対談がとてもよかったです。
委 員	文科省はA Iに対抗できる力をつける授業を行うべき、経産省はどんどんテクノロジーを使うべき、と異なる立場からの話が聞け、今後のため楽しみです。教員や学校も外部と積極的に関わっていく必要があると感じました。
委 員	最先端の話が聞けました。
委 員	日本では職業を奪われるなどと危機感を煽りますが、アメリカではA Iを敵対視するわけではなく、人間を補完して暮らしを豊かにするものとされています。A Iとどのように折り合いをつけていくのか考える必要があると思います。
教 育 長	講演の中で合田課長からはA Iに対し、根拠のない不安を持つ必要はなく、活用していくこと、また、浅野課長からはもっと危機意識を持つべきではないかというお話があったのが対照的でした。
委 員	報告事項④のプレゼンテーション大会について、プロから言わせれば指摘事項はあるのかもしれませんが、子供たちは大変頑張っていたと思います。特に金賞の喜沢中は、自分たちの立場に置き換え、自分たちなりに考えていたところが素晴らしかったです。中学校のように小学校もテーマが決まっていると良いかもしれません。審査の際、ループリックに当てはめやすいと感じました。
事 務 局	仰るとおりです。今年度、中学校のテーマを「戸田市長になったら」と設定しましたが、来年度は小学校もテーマを設定したいと考えています。
委 員	学芸会的なものは不可であるとあらかじめ決めていたのが良かったと思います。
事 務 局	プレゼンテーション大会も回を重ねる中で、中身が重要になってきまし

	<p>た。表現力も大切ですが、ルーブリックに当てはめ、どれだけ考えてきたか、またそのプロセスが重要です。今回金賞の喜沢中はまさしくPBLの勝利であったと思います。次回からPBLと関連付けながら、その発表の場としてのプレゼンテーション大会であると位置付けていきたいと考えております。</p>
委員	<p>とても良かったと思います。ただ、発表時間にばらつきがありました。決められた時間の中でまとめる力も必要ではないかと思います。</p>
委員	<p>以前、大学のゼミとは何か議論になったことがあります。ゼミの原点はPBLやALで、その成果がパワーポイントの資料でのプレゼンテーションではないかという話になりました。</p> <p>学芸会的なものではなく、プレゼンテーション作成までのプロセスを発表させることが大切だと思いますが、それを学校にどのように伝えたらよいか我々の課題であると思います。ただ、あのような大きな会場で発表するという晴れがましさを取り入れるのは非常に良いと思います。</p>
教育長	<p>以前と比較して、確実に進歩したと思います。特に中学校は努力したと思います。来年度以降も日頃のPBLを意識し、民間の知見を活かしながらさらにステップアップしていきたいと考えています。</p>
教育長	<p>報告事項⑤の文化財防火点検等は市民の見学は可能ですか。</p>
事務局	<p>可能です。広報でも周知を行い、毎年少人数ではありますが、見学者がいます。</p>
教育長	<p>それでは他に御質問等がないようですので、次に、次第の6その他の「次回の教育委員会の日程（案）」について、事務局より説明願います。</p>
事務局	<p>次回、教育委員会定例会の日程ですが2月14日（木）午前9時30分からの開催について、お伺いいたします。</p>
教育長	<p>それでは、次回の教育委員会定例会の日程は、事務局（案）のとおりでよろしいでしょうか。</p>

各委員	了承
教育長	それでは、次回の教育委員会定例会の日程は、事務局（案）のとおり決定いたします。次に、その他ですが、事務局から何かございますか。
事務局	特になし
教育長	その他に委員から教育委員提案のテーマについて何かございますか。
委員	給食費の未納対策について、これまで何度か御報告いただいておりますが、その後の進捗状況を報告してください。
事務局	承知いたしました。
教育長	それでは、「議案第1号から議案第6号」を議題といたします。秘密会とすることに決定しておりますので、説明員で議案に関係する職員以外は退席願います。
教育長	【関係者以外の退席を確認後】 それでは、「議案第1号 戸田市奨学資金条例等の一部を改正する条例（案）について」事務局より説明願います。
事務局	資料7ページを御覧ください。学校教育法の一部を改正する法律が平成29年5月31日に公布され、平成31年4月1日から施行されます。この改正で、新たな高等教育機関として、専門職大学及び専門職短期大学が制度化されたことにより、本市の関係条例の整備が必要となることから、戸田市奨学資金条例、戸田市海外留学奨学資金等給与条例、戸田市入学準備金貸付条例、戸田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例を一括改正するものです。  具体的には、2ページの戸田市奨学資金条例（第1条関係）新旧対照表を御覧ください。第2条において、奨学金の申請者の要件を規定しておりますが、ここに専門職大学・専門職短期大学に在学している者を含み、従前の対象者と同様になるよう、規定を整理するものです。

	<p>次に、3ページの戸田市海外留学奨学資金等給与条例（第2条関係）新旧対照表を御覧ください。第2条において、奨学金の受給資格としての学校種について、専門職大学・専門職短期大学を含み、従前の対象学校種と同様になるよう、規定を整理するものです。</p> <p>次に、4ページの戸田市入学準備金貸付条例（第3条関係）新旧対照表を御覧ください。第2条において、入学準備金貸付の対象となる大学の定義について、専門職大学・専門職短期大学を含み、従前と同様になるよう、規定を整理するものです。</p> <p>最後に、5ページの戸田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例（第4条関係）新旧対照表を御覧ください。第11条において、放課後児童支援員となれる者の基礎資格を規定しておりますが、ここに専門職大学の前期課程を修了した者を追加するものです。</p> <p>6ページの附則については、この条例の施行期日を平成31年4月1日とするものです。</p>
教育長	以上で説明が終わりました。何か御質問等がありましたら伺います。
委員	入学準備金・奨学金を大学院生にも貸付けすることはできませんか。
事務局	現在は、高校生・大学生向けの制度となっています。今後の政策課題として検討いたします。
教育長	それでは、他に質問等がないようですので、打ち切ります。議案第1号は、提案内容のとおり議決することに御異議ございませんか。
委員	異議なし
教育長	異議なしと認め、議案第1号は提案内容のとおり議決いたします。
	<b>【議案第2号を議決】</b>
教育長	次に、「議案第3号 平成30年度一般会計教育委員会関係3月補正予算（案）について」事務局より説明願います。

<p>事務局</p>	<p>資料9ページを御覧ください。まず、歳入につきましては、小学校費補助金について、学校施設環境改善交付金の補助単価が増額されたことから、国庫補助金について増額補正するものです。また、中学校費補助金について、契約差金が生じ、事業費が減額したことから、国庫補助金について減額補正するものです。</p> <p>また、教育基金に係る運用益について、当初の予測を上回ることになったことにより、利子及び配当金を増額補正するものです。</p> <p>市債につきましては、小学校債、中学校債、社会教育債それぞれ改築、改修等事業の契約額確定に伴い減額補正するものです。</p> <p>10ページを御覧ください。歳出につきましては、11ページの人財育成奨学資金給付事業以外はすべて減額補正となります。</p> <p>教育総務課の小学校施設管理費、小学校施設整備事業、中学校施設管理費、中学校施設整備事業は、契約差金が生じたことによる減額補正です。</p> <p>次に、生涯学習課の図書館管理運営費につきましても、契約額確定に伴う減額補正です。</p> <p>次に、教育総務課の奨学資金貸付事業に係る減額補正です。これは、今年度の貸付額が確定したことによる減額補正です。</p> <p>最後に、教育総務課の人財育成奨学資金給付事業に係る増額補正です。積立基金に係る運用益の増により、基金へ同額積立てることによる増額補正です。</p> <p>また、12ページにつきましては、継続費の変更になります。戸田東小学校・戸田東中学校改築等工事（Ⅰ・Ⅱ期）及び図書館・郷土博物館設備改修事業について、入札の執行及び契約締結により、事業費についての契約差金が生じたこと、また、工事の進捗率を精査し、各年度の支出金額を補正するものです。</p>
<p>教育長</p>	<p>以上で説明が終わりました。何か御質問等がありましたら伺います。</p>

教 育 長	それでは、特に質問等がないようですので、打ち切ります。議案第3号は、提案内容のとおり議決することに御異議ございませんか。
委 員	異議なし
教 育 長	異議なしと認め、議案第3号は提案内容のとおり議決いたします。
教 育 長	次に、「議案第4号 平成30年度海外留学奨学事業特別会計3月補正予算(案)について」事務局より説明願います。
事 務 局	資料13ページを御覧ください。歳入において、積立基金に係る運用益について、当初の予測を上回るようになったことにより利子及び配当金を増額補正し、同額を繰入金から減額補正するものです。また、前年度繰越金が確定したことにより繰越金を増額補正し、歳出において同額を海外留学奨学基金へ積み立てる増額補正をするものです。以上でございます。
教 育 長	以上で説明が終わりました。何か御質問等がありましたら伺います。
教 育 長	それでは、特に質問等がないようですので、打ち切ります。議案第4号は、提案内容のとおり議決することに御異議ございませんか。
委 員	異議なし
教 育 長	異議なしと認め、議案第4号は提案内容のとおり議決いたします。
教 育 長	次に、「議案第5号 平成31年度一般会計教育委員会関係予算(案)について」事務局より説明願います。
事 務 局	資料14ページ以降を御覧ください。課別、大事業ごとに説明いたします。特に各事業について、平成30年度はと大きく増減のあるもの、新たな事業について、概要を説明いたします。  はじめに教育総務課です。  小学校施設管理費においては、プールやブロック塀の修繕費、校務員や有人警備委託料の増加、また、学習系指導者PCの入替に伴い増額となっ

ております。

小学校備品購入費においては、緊急地震速報機器一式の更改、児童増に伴う備品購入により増額となっております。

小学校施設整備事業においては、戸一小改築等工事設計業務、戸一小校庭代替地の借上料や校庭代替地整備費用、戸田東小・中の改築等工事に伴い、大幅な増額となっております。

中学校施設管理費においては、キュービクルや消防設備、ブロック塀の修繕、学習系指導者PCの入替、学習者用タブレット 1,000 台の導入に伴い増額となっております。

中学校備品購入費においては、緊急地震速報機器一式の更改、教室増に伴う備品購入により増額となっております。

中学校施設整備事業においては、戸田東小・中の改築等工事、新曽中の増築、外壁修繕設計、体育館エアコン設置に伴う設計に伴い、大幅な増額となっております。

入学準備金・奨学資金貸付事業は、事業統合に伴い、実績をもとに貸付額を精査したものです。

次に、学務課です。

小学校管理運営費及び中学校管理運営費については、教頭をサポートするスクールサポートスタッフを小・中学校 1 校ずつ配置することに伴い、増額となっております。また、川口市に開校する夜間中学校の負担金が増額となっております。

次に、教育政策室です。

学校教育指導事業について、約 600 万円の減額となっておりますが、主に平成 30 年度計上のプログラミング教育教材購入費用の減額分であり、事業の内容自体を縮小するわけではありません。

15 年教育事業については、来年度からの新規事業で、市長公約の「戸

田型15年教育の推進」に関するものです。幼・保・小・中学校で、一貫した課題解決型学習、いわゆるプロジェクト型の探究学習を進めていくための講師謝礼や、セサミストリートカリキュラムを推進するための講師謝礼、また、幼児、児童、生徒の体力向上を進めていくため、民間スポーツ施設と連携した取組に係る経費です。

小学校教育振興費について、約580万円の減額となっておりますが、平成30年度計上の英語教材備品購入費用の減額分であり、事業自体に大きな変更はありません。

中学校教育振興費について、約1千万円の増額となっております。増額理由は大きく三つあります。一つ目は部活動サポート事業で、民間スポーツ機関や大学と連携し、部活動に科学的根拠に基づいたトレーニングの導入や、担当する部活動の種目に不慣れな教師の支援を行う事業です。また、吹奏楽部にも講師招聘のための予算を計上しております。

二つ目は、戸田東小・中の建替えに係る非常勤職員の任用です。部活動を実施する際、校庭が使えないことから外部の施設で活動をする際、顧問と協力をして引率できる方を任用する経費です。

三つ目は、道徳が教科化されることに伴い、中学校道徳教科書の指導書の購入費用を計上するものです。

次に、教育センターにかかる予算です。教育センター管理運営費について、約600万円の減額となっておりますが、平成30年度計上の修繕費、教育センター配置のパソコンのリースが満了したことによる減額分です。

就学・教育相談事業について、約4,600万円の増額となっており、増額理由は大きく二つあります。一つ目は、教育センターの教育相談業務について、これまで臨床心理士を非常勤として4名任用していましたが、賃金などの勤務条件が都内などと比べて低く、応募が少なくなってきたことから、質の高い相談員を配置できるよう相談業務を専門機関に業務委託することとしました。また、児童生徒のSNS相談についても、長期休業の前後を含む期間に限定することになりますが、新たに実施することを想定

しております。

二つ目は、不登校児童生徒が学ぶ場である適応指導教室、いわゆるステップ教室の業務委託化に関わる経費です。これまで児童生徒を指導する非常勤職員を配置し対応してまいりましたが、フリースクールなどの専門的な知見を得ながら、不登校児童生徒の日々の授業サポートを充実してまいります。さらには、不登校児童生徒の家庭にもアウトリーチをかけ支援していく予定です。

次に、学校給食課です。

学校給食センター運営委員会費は、平成31年度から学校給食センター管理運営費に統合いたします。

学校給食センター管理運営費は、市長の公約として第3子以降の給食費を平成31年度から減免するため、増額となっております。

単独校調理場管理運営事業は、調理機器の買い替えに伴い増額となっております。

最後に、生涯学習課です。

図書館管理運営費は、引き続き大規模設備改修工事の実施のほか、2020年4月の本館の運用再開に向けて、親子が気兼ねなく読み聞かせコーナーを利用できるよう間仕切り等の設置、児童用椅子・テーブルの新規購入などを行うため、増額となっております。

郷土博物館運営費は、24年ぶりとなる常設展示室のリニューアルに伴うディスプレイ等の製作業務の委託などを行うため、増額となっております。

彩湖自然学習センター管理運営費は、入館者数の増加を図るべく、愛称やイメージキャラクター募集に伴うチラシ・ポスター印刷、新キャラクターの缶バッジ購入、施設上層階の窓に施設名称シートの貼付、新企画としてドクターフィッシュのコーナー設置に伴う水槽の購入などを行うため、増額となっております。

	<p>また、資料19ページ・20ページは、複数年にわたる全課分の各種業務委託について債務負担行為を計上するものです。</p>
教育長	<p>以上で説明が終わりました。何か御質問等がありましたら伺います。</p>
委員	<p>中学校に学習者用タブレットを1,000台導入するとのことですが、これで文科省基準に達しますか。また、体育館へのエアコン設置計画について教えてください。</p>
事務局	<p>タブレットPCについては、1,000台導入すると3クラスに1クラス分となり、文科省基準に達します。1日に1回、一人1台環境で授業を受けることができるようになります。</p> <p>体育館へのエアコンの設置については、まず中学校に設置します。その後、小学校に設置する予定です。体育館は学校教育だけでなく、災害時の避難所としても使用する可能性があるため、熱中症対策として設置します。また、県内他市では、朝霞市が平成29年度から5年間かけて導入を進めています。</p>
委員	<p>スクールサポートスタッフについて教えてください。</p>
事務局	<p>国・県3分の1ずつの補助金を受け、1日5時間、週5日、小学校1校・中学校1校に一人ずつ配置します。</p> <p>教頭業務のサポートであるため、教員免許を所有し、学校をよく理解している方になっていただくことを想定しています。仕事内容は、簡単な調査のまとめや施設の見回り、印刷業務等です。</p>
教育長	<p>教育政策室の新規事業など市長の理解が得られ、予算計上を認めていただきました。</p>
教育長	<p>それでは、他に質問等がないようですので、打ち切ります。議案第5号は、提案内容のとおり議決することに御異議ございませんか。</p>
委員	<p>異議なし</p>

教 育 長	異議なしと認め、議案第5号は提案内容のとおり議決いたします。
教 育 長	次に、「議案第6号 平成31年度海外留学奨学事業特別会計予算（案）について」事務局より説明願います。
事 務 局	<p>資料21ページを御覧ください。本事業は、本市将来の発展に資する有用な人材を育成することを目的とし、戸田市民の世帯の子で海外に留学する者に対し、奨学資金及び渡航費用を給与しております。</p> <p>まず、平成31年度の海外留学奨学事業特別会計の歳入歳出予算の総額を、それぞれ1,299万1千円とするものです。歳出の主なものは、款1の事業費で留学生への交付金1,270万円です。歳入の主なものは、款2の繰入金で、主に交付金に充てるものを海外留学奨学基金から繰り入れるものです。</p>
教 育 長	以上で説明が終わりました。何か御質問等がありましたら伺います。
教 育 長	年に2回、奨学金を給与決定された奨学生については報告がありますが、本制度開始からどれくらいの奨学生が利用したのか御報告していなかったかと思しますので、何かの折に報告してください。
事 務 局	昭和53年度の制度開始から100名以上の奨学生が本制度を利用しております。詳細につきましては、今年度第2回の選考委員会を3月に実施し、奨学生が決定いたしましたら、その報告と合わせて御報告いたします。
教 育 長	それでは、他に質問等がないようですので、打ち切ります。議案第6号は、提案内容のとおり議決することに御異議ございませんか。
委 員	異議なし
教 育 長	異議なしと認め、議案第6号は提案内容のとおり議決いたします。
教 育 長	それでは、本日の案件等すべて終了いたしましたので、以上をもちまして、本日の教育委員会定例会を閉会いたします。